

-----11月11日-----

※ 今週のアウトルック (11/11~11/15)

先週、木曜日まではドル売り中心となる展開だったものの、金曜日の米雇用統計で予想を上回る雇用増が示され、緩和策縮小による影響を乗り越えられるだけ、経済が成長している兆し、と受け止められたようで週末にはドル買いに転じています。

マクロ指標の結果などに対しても、なかなか一筋縄では行かない展開のようです。

今週も、米国景気回復の裏付けを見極めながらの展開となりそうですが、市場のセンチメントの変化には注意が必要なようです。

先週は、ドル売りが先行したものの、週末には買い戻しが一気に進みました。このままの流れが今週も続くかどうかは、微妙なところのように思いますが、98円から99.5円あたりのレンジをウロウロする可能性の方が少し高いようにも思います。ただ、同じマクロ指標の改善情報でも、市場の判断が違う場合もありそうなので、しばらくは神経質な展開となりそうです。

ドル円の予想レンジは97.5円から100円です。

ユーロドルはしばらく膠着状態が続いたものの、金曜日には下落しています。テクニカル的には、もう一段の下落があってもおかしくないような気がします。

ユーロ円については、ユーロドルが落ち着きを見せてくれば、こちらのほうが、上昇が先になる可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは131円から133.5円です。

ポンド円はもうしばらくレンジ的な動きが継続するように思います。

ポンド円の予想レンジは157円から159.5円です。

今週は、米国雇用統計の発表後の新たな材料探しとなりそうですが、市場センチメントの変わり目は、あまり大きな利用によらないケースもあるので、注意が必要です。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。